

平成 28 年度
まちづくり専門家派遣
実 績 報 告

北 区
須磨区
西 区

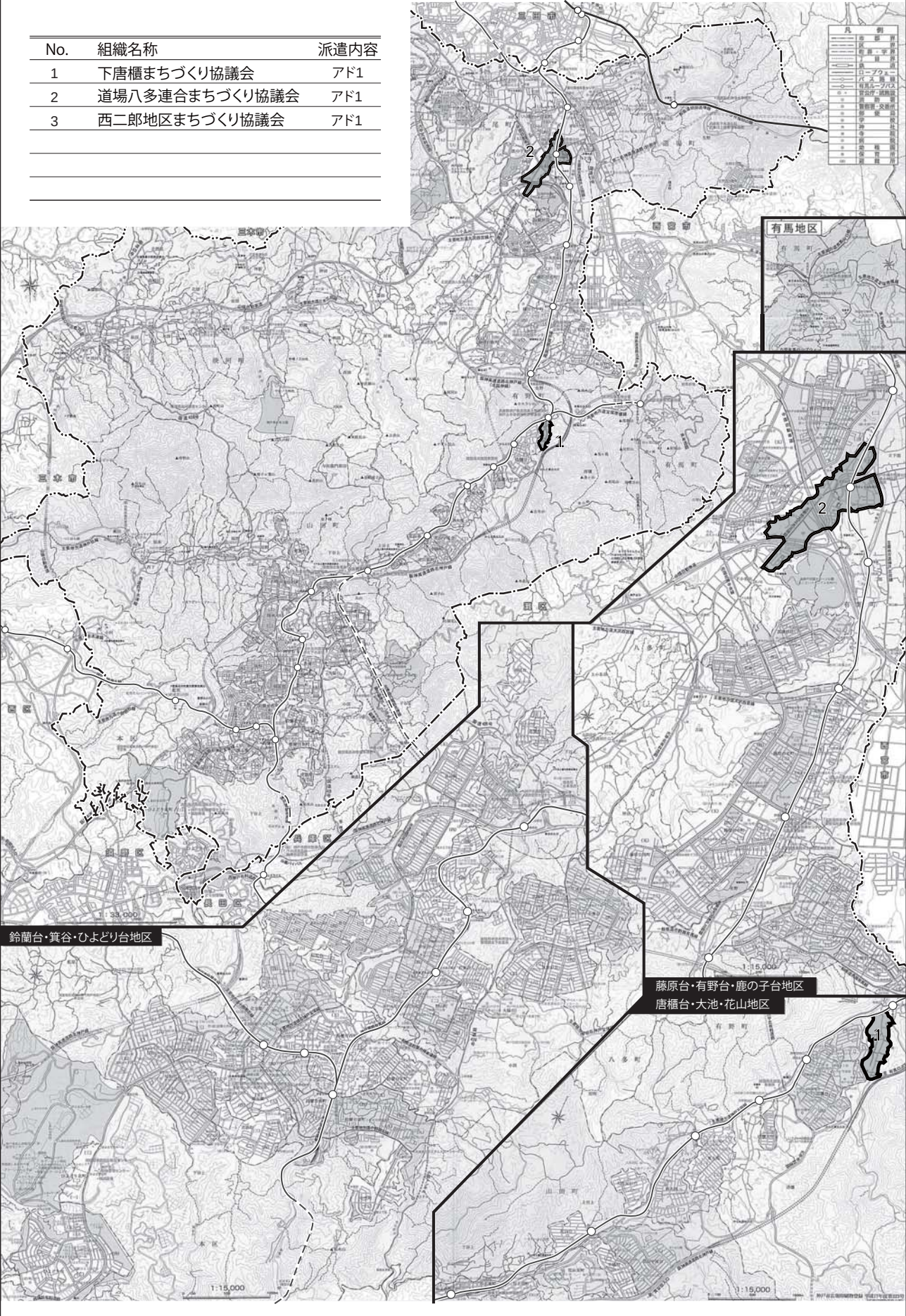
神戸市住宅都市局まち再生推進課
神戸すまいまちづくり公社

目次

北 区	派遣 内容		ページ 番号	区域図 No
1 下唐櫃まちづくり協議会	アド1	...	P.2	(北1)
2 道場八多連合まちづくり協議会	アド1	...	P.3	(北2)
3 西二郎地区まちづくり協議会	アド1	...	P.4	(北3)

北区まちづくり専門家派遣地区 区域図

No.	組織名称	派遣内容
1	下唐櫃まちづくり協議会	アド1
2	道場八多連合まちづくり協議会	アド1
3	西二郎地区まちづくり協議会	アド1



— 専門家派遣地区データ及び成果 —

◇まちづくり計画

派遣地区名	下唐櫃地区		
所在地	神戸市北区有野町唐櫃字西垣、東垣、西畑垣、東畑垣及び溝ノ下垣の各一部		
世帯数・地区面積	約 90 世帯 約 16 ヘクタール		
派遣目的	当地区は神戸電鉄有馬口駅の徒歩圏内にあり、市街化区域に指定されているが、今も昔ながらの農村風景が色濃く残された地域である。当地区を都市環境と農村環境の調和した魅力あるまちにするための「下唐櫃地区まちづくり構想」を実現するため、地域の魅力をまもり、そだて、つくる方策を検討する。		
本年度の活動内容及び成果 ・いつ・何が・どうなったのか具体的にご記入ください	年度	種別 (いずれかに○)	活動内容及び成果
	28年度	○アドバイザーⅠ アドバイザーⅡ コンサルタント	・住民主体によるまち歩き&気づきWSで発見した道路・水路等の改善ポイントについて神戸市に要望を行い、市道六甲森林線の拡幅整備事業（L=約45mの側溝整備工事）が完了した。 ・災害への備えや対処方法などに関する情報提供と住民の関心を高めるため、神戸市の「出前トーク（耐震化）」を開催し、建物の耐震化などについて意見交換した。 ・交通量調査を継続的に実施し、交通量の変化からみたまちの課題等を明らかにした。 ・水質調査等を継続的に実施し、水質の変化など地域資源である水環境などについて把握した。 ・下唐櫃市民公園に植樹したヤマザクラの維持管理作業（水やりなど）を住民主体で継続して行った。 ・住民参画型森林整備事業についてまち協が窓口となり、林産組合と共同でナラ枯木の伐採・薪割・巻束づくりを行うとともに、地元婦人会や兵庫県立大学・神戸大学の学生などを受け入れ交流した。 ・まちづくり協議会の会議等の運営および活動等について助言を行うとともに、広報活動の支援として「まちづくり通信」を作成し配布した。
難行した点 有効だった点	下唐櫃地区の入口に位置する土地で新築の長屋住宅の建築届出が出されたため、まちづくり協定の規定に基づき「まちづくり協定運用委員会」を複数回開催することで、届出者との間で協定内容についての協議を行い、合わせて工事中の安全確保などの合意を得ることができた。 森林活動については、「伊勢講山の会」を組織し、地元の婦人会や外部の大学生などの参加を得ることができたことで、活動に一定の広がりをもてたといえる。		
今後の課題	住民参画型森林整備事業のなかで間伐材などの資源活用方法としてナラ枯木の伐採・薪割・巻束づくりを行ったものの、マキの供給量が限られており、今後どのように対応すべきかが課題となっている。 さらに、来年度以降、広く参加者を募って活動を進くため、HP開設など新たな情報発信方法について検討が必要となっている。		

アドバイザー・コンサルタント名

有限会社 地域計画

記入担当者 安田 正 （連絡先）（078）362—5580

— 専門家派遣地区データ及び成果 —

◇まちづくり計画

派遣地区名	道場八多 地区		
所在地	神戸市北区道場町日下部 及び 八多町中の一部		
世帯数・地区面積	1, 000世帯 58.6ha		
派遣目的	神戸市施工の土地区画整理事業地区において、ゆとりと活力のある環境共生都市を形成するため、適正な「まちづくり協定」の運用を支援する。		
本年度の活動内容及び成果 ・いつ・何が・どうなったのか具体的にご記入ください	年度	種別 (いずれかに○)	活動内容及び成果
	28年度	○アドバイザーⅠ アドバイザーⅡ コンサルタント	
	年間		原則として、毎月1回の役員会兼まちづくり協定運用委員会に出席し、専門家の立場で意見を述べた。
	6月		年に1回の定期総会に出席し、平成27年度のまちづくり協議会の届出案件の特徴づけを行った。
	3月		年度末の3月に平成28年度のまちづくり協議会の内容をまとめ、「まちづくり協議会ニュース」として支援を行った。
難行した点 有効だった点	【難航した点】 区画整理事業による開発、換地計画終了後時間の経過とともに、まちづくり協定の届出案件が減少し、まち協役員会の開催回数が減少した。 【有効だった点】 道場南口駅前地区で神戸市所有地を有効活用し、定期借地権方式のパークアイランド型駐車場を推進したが、今のところ駅前の活性化に役立ちそうである。		
今後の課題	当地区で推進している、まちづくり協議会によるまちづくり活動力の継続は重要であり、まちの環境が悪くならないよう、良くなるよう努力する必要があるかもしれない。		

アドバイザー・コンサルタント名

(株)ジーユー計画研究所

記入担当者 後藤 祐介 (連絡先) (078) 435-6510

— 専門家派遣地区データ及び成果 —

◇まちづくり計画

派遣地区名	西二郎地区		
所在地	神戸市 北区 有野町有野の一部及び有野町二郎の一部		
世帯数・地区面積	約270世帯		約21.4ha
派遣目的	平成30年12月にまちづくり協定締結20年となるため、協定の内容を見直しつつ、引き続きまちの環境を守り育てる協定の締結をすすめる。		
本年度の活動内容及び成果 ・いつ・何が・どうなったのか具体的にご記入ください	年度	種別 (いずれかに○)	活動内容及び成果
	28年度	アドバイザーⅠ アドバイザーⅡ コンサルタント	まちづくり協定再締結の意向確認
難航した点 有効だった点	約20年前の協定締結時に活動の中心メンバーだった方々は既に一線を退かれているが、現在の自治会およびまちづくり協議会の構成メンバーもまちづくり協定の締結に前向きである。 ただし、まちづくり協定の効果と運用のポイントなど、改めて理解を深めていく必要がある。		
今後の課題	協定の再締結をすすめるとともに、次世代のまちづくり意識を醸成するような取り組みや情報発信にも留意して進めて行く		

アドバイザー・コンサルタント名 株式会社 山内徹郎都市計画研究室

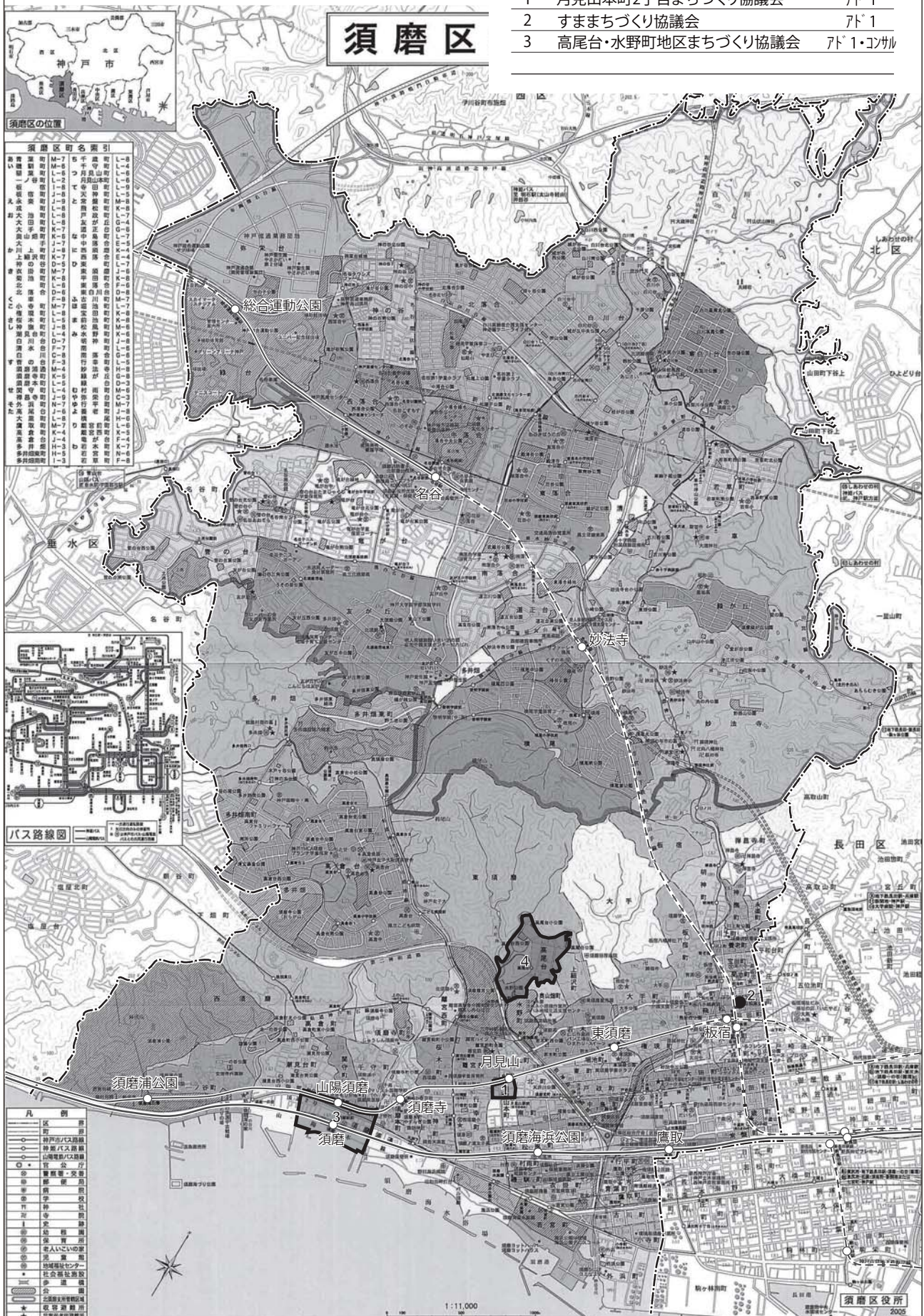
記入担当者 山内 徹郎 (連絡先) (078) 262-1343

目次

須磨区	派遣 内容		ページ 番号	区域図 No
1 月見山本町2丁目まちづくり協議会	アド1	...	P.2	(須磨1)
2 すままちづくり協議会	アド1	...	P.3	(須磨2)
3 高尾台・水野町地区まちづくり協議会	アド1・コンサル	...	P.4	(須磨3)

須磨区

No.	組織名称	派遣内容
1	月見山本町2丁目まちづくり協議会	7人1
2	すままちづくり協議会	7人1
3	高尾台・水野町地区まちづくり協議会	7人1・コンサル



— 専門家派遣地区データ及び成果 —

◇まちづくり計画

派遣地区名	月見山本町2丁目 地区		
所在地	神戸市 須磨区 月見山本町2丁目 全域		
世帯数・地区面積	164世帯 (H28.12末住民基本台帳) 約1.9 ha		
派遣目的	・まちづくり協議会の会議等の技術的支援 ・まちづくり活動の周知及び住民の意識啓発の支援		
本年度の活動内容及び成果 ・いつ・何が・どうなったのか具体的にご記入ください	年度	種別 (いずれかに○)	活動内容及び成果
	28年度	アドバイザーⅠ アドバイザーⅡ コンサルタント	1) 役員会（毎月1回開催） ・定期総会について ・拡大まち歩きについて ・まちづくりプラン（役員会案）について ・今後のまちづくり活動について 等 2) 定期総会 ・平成27年度活動・決算及び監査報告 ・平成28年度活動・予算、規約改正と役員改選 ・まち歩きイベントの報告 3) イベントの開催 ・まち歩きイベントの開催 4) その他の活動 ・連合自治会等の行事・活動に参加 5) ニュースの発行 ・第25～26号の発行
難航した点 有効だった点	(有効だった点) ■連合自治会や商店会等との連携 連合自治会や商店会等地区内の他団体とも連携しながら、まちづくり活動を展開している。 ■まちの関心を高めるためのイベントの開催 月見山のまちやまちづくり協議会への関心を高めてもらうため、まち歩きイベントを開催した。まち歩きマップやクイズ、各ポイントの案内も役員等が分担して行った。当日も想定よりも多くの参加者があった。		
今後の課題	■まちの空間構想(役員会案)の作成 また本地区は月見山駅前に位置し、近くに須磨離宮公園や歴史的な施設等も立地するなど、利便性が比較的高く、歴史・文化的な魅力も兼ね備えたエリアである。しかし地区内には、狭隘道路や老朽化した長屋・戸建て住宅等もあり、防災上の課題も多い。 このようなまちの魅力や課題を役員のなかで十分共有したうえで、まちづくりの方向性、すぐにできる取り組み、長期的な視点にたって取り組むことなどを整理しながら、本協議会の活動に応じたまちの空間構想を作成することが求められる。		

アドバイザー・コンサルタント名 株式会社 遊空間工房

記入担当者 野崎 隆一（連絡先）（078）261-0337

— 専門家派遣地区データ及び成果 —

◇まちづくり計画

派遣地区名	須磨駅周辺 地区		
所在地	神戸市 須磨 区		
世帯数・地区面積	531世帯 約12ha		
派遣目的	平成23年に活動休止したまちづくり協議会を再編し、再始動したまちづくり協議会の初動期を支援する。		
本年度の活動内容及び成果 ・いつ・何が・どうなったのか具体的にご記入ください	年度	種別 (いずれかに○)	活動内容及び成果
	28年度	アドバイザー アドバイザーⅡ コンサルタント	新たなまちづくり協議会の活動支援、今後の活動方針の策定支援
難行した点 有効だった点	前協議会から役員体制も一新し、若手中心での再出発となったので、行動力のある活動組織となった。一方、前協議会が提案したまちづくり構想に対する神戸市の回答に対しては根強い反発意見があり、再出発することそのものに反発する住民意見もあったため、コミュニケーションを図ることが重要であった。過去の経緯をすべてわかっている専門家の立場として、誤解や思い込みの部分丁寧に説明することができた。		
今後の課題	まだ地域の中でコミュニケーションが充分とは言えず、誤解や思い込みがあるまま、新しいまちづくり組織の活動に対しても懐疑的な声がある。引き続き、様々な機会を通してコミュニケーションを図り、フラットな状況の中でまちづくりに対する思いを整理していく環境を作る必要がある。		

アドバイザー・コンサルタント名 株式会社 山内徹郎都市計画研究室

記入担当者 山内 徹郎 (連絡先) (078) 262-1343

高尾台・水野町地区まちづくり協議会

位 置	神戸市須磨区	地区の性格	高経年ニュータウン
面 積	約15.0ha	世 帯 数	344世帯（高尾台308世帯，水野町36世帯）
設立年月	2008. 10. 26	設 立 主 旨	安心・安全で住みよい未来あるまちづくり
		アピールしたいことを一言！ 高尾台は一戸建住宅団地でありながら管理組合方式をとるユニークなニュータウンです。	

区域図



活動の様子

まちづくり協定 確認事項記入シート

活動の概要

●定例会の開催

- ・月1回，高尾台集会所にて定例会を開催。
- ・その他，総会（1回），まちあるき2回実施。
- ・ニュース（まち協だより）を2回発行。

●まちづくり協定に係る審議

- ・2015年度に締結した協定に基づき，これまで5件の協議案件について審議した。その過程において，細則の必要性についても議論している。
- ・団地入り口の駐車場について，フェンスの付け替えや清掃，利用マナーの向上を要請した。

●まちづくり構想具体化に向けた取り組み

- ・昨年度，まちづくり構想の具体化に向け優先課題として抽出した6項目についての検討を進めた。
- ・安全な通学路の形成に向けて，車両がスピードを出しがちなバス道を中心に現場確認まちあるきを実施し，課題の洗い出しを行った。
- ・魅力スポットの形成を目標に，パノラマ地図や地区紹介マップ作成に向け検討を進めた。



現場確認まちあるきのようす



検討中のパノラマ地図（案）

— 専門家派遣地区データ及び成果 —

◇まちづくり計画

派遣地区名	高尾台・水野町 地区		
所在地	神戸市 須磨区 高尾台1～3丁目, 水野町		
世帯数・地区面積	344 世帯		9.0 ha
派遣目的	高尾台・水野町地区における、安全して住み続けられるまちづくりの推進に向けた取り組みに対して支援をする。		
本年度の活動内容及び成果 ・いつ・何が・どうなったのか具体的にご記入ください	年度	種別 (いずれかに○)	活動内容及び成果
	28年度	アドバイザーⅠ アドバイザーⅡ ○コンサルタント	●定例会の開催 ・月1回、高尾台集会所にて定例会を開催している。その他、総会（1回）、まちあるきを2回行った。また活動報告のニュース（まち協だより）を2回発行している。 ●まちづくり協定に係る審議 ・2015年度に締結した協定に基づき、これまで5件の協議案件について審議した。その過程において、細則の必要性についても議論している。 ・団地入り口の駐車場フェンスについて、景観上好ましくないと意見が出され、使用者ならびに管理者に対して是正を要請した。同時に、清掃管理や利用車両のマナー向上についても要望したところ、後者の二つについては対応された。 ●まちづくり構想の具体化に向けた取り組み ・昨年度、投票により抽出された優先課題6項目について検討を進めた。 ・車両がスピードを出す傾向にあるバス道の現場確認まちあるきを行い、カーブの見通しの悪さや夜間の暗さが課題として洗い出された。各部署への対応を要請し、外灯の付け替え、カーブへの誘導ラインの設置が実施された。 ・魅力スポットの形成を目標にパノラマ地図・地区紹介マップの検討を進めている。次年度、設置予定である。
難航した点 有効だった点	●難航した点 ・「難航」というわけではないが、協定締結後、審議案件の数が未だ5件と少ないため、具体的な事例に即した細則の検討に入ることが難しい。 ・また協定締結のきっかけとなった大規模敷地についても、所有者の事情により膠着した状況にあり、当面は地域からの動きは取りにくいと思われる。 ●有効だった点 ・まちづくり協議会に寄せられた地域住民からの意見やまちあるきで洗い出された課題等について、対応が実施された案件が多くあり、実績づくりにつながった。		
今後の課題	●市営住宅跡地の活用提案 ●まちづくり構想の具体化にむけた取り組み ●まちづくり協定の運用、同細則の検討		

※入力フォーム（EXCEL）が必要な方はメールでお知らせください。

アドバイザー・コンサルタント名

株式会社 都市調査計画事務所

記入担当者 田中正人 （連絡先）（078）453—6378

目次

西区	派遣 内容		ページ 番号	区域図 No
1 桜が丘地域協定委員会	アド1	...	P2	(西1)

西区まちづくり専門家派遣地区 区域図



No.	組織名称	派遣内容
1	桜が丘地域協定委員会	7丁1

— 専門家派遣地区データ及び成果 —

◇まちづくり計画

派遣地区名	桜が丘地区		
所在地	神戸市西区桜が丘東町1丁目（一部を除く）、2丁目、4～6丁目、中町1丁目（一部を除く）、2～6丁目、西町の全域		
世帯数・地区面積	約2,600世帯 約135ヘクタール		
派遣目的	美しい郊外ニュータウン「緑豊かでゆったりと落ち着いた町」という地区キャッチフレーズを実現し、住みよいまちづくりを推進するため、決定した地区計画やまちづくり協定等を的確に運用するうえでの、専門的・技術的な支援を行う。		
本年度の活動内容及び成果 ・いつ・何が・どうなったのか具体的にご記入ください	年度	種別 (いずれかに○)	活動内容及び成果
	28年度	○アドバイザーⅠ アドバイザーⅡ コンサルタント	・平成28年度の届出件数は、全体で約188件（前年度比95%程度）、内訳は新築・増改築12件（6%）、外壁塗装84件（45%）、車庫の建築等30件（16%）、その他外構工事など62件（33%）であり、すべての届出物件を協定に適合させた。 ・空き家・空き地の調査を本年9月～12月までの間に地域協定委員会審査会で実施し、空き家103件（3.8%）、空き地44件（1.6%）という結果であった。 ・まちづくり協定の有効期限（平成31年6月30日）を契機として、まちづくり協定の見直し・更新などとともに、まちづくり構想を新たに作成するため委員会内部で議論した。 ・そのため住民や地権者等の意見・意向などを把握するためのアンケート調査票やルール説明資料等について検討した。 ・平成29年度以降における意向調査や合意形成活動の具体的なスケジュール作成や地区外地権者調査等を進めた。 ・会議等の運営および活動等について助言を行うとともに、広報活動の支援として「まちづくりニュース」を作成し配布した。
難行した点 有効だった点	・まちづくりルールのうち、地区計画についてはルール内容を見直す方向とするのかについて委員会内部で意見が分かれたため、他地区での事例などを参考にすることで、まずアンケート調査で全体的なルール見直しの方向性を探るところから出発することとした。 ・全体的な地区の将来像については、まちづくり構想として方向性を示していくことで、将来的に地区計画の内容を見直すだけの住民の意識が高まった段階における道筋をつけておくことができると考えた。		
今後の課題	・平成29年度において二度のアンケート調査や意見交換会、説明会などを行うことでまちづくりルールの見直し・更新さらにまちづくり構想の作成・提案を行う予定であり、住民や地区外地権者などの権利者調査などと合わせると、非常にタイトなスケジュールであるため、市役所や区役所さらに地元役員などとの協力関係を密にすることで、十分な情報提供、ていねいな説明、誰もが納得する協議会運営などを目標としていきたいと考えている。		

アドバイザー・コンサルタント名

有限会社 地域計画

記入担当者 安田 正 （連絡先）（078）362—5580